



みどりの子 7月号

23. 7. 1

学校教育目標

進んで学ぶ人になろう ・ 心豊かな人になろう ・ 健康な人になろう

所沢市立荒幡小学校

「ある」という想定のもと、本気で。

校長 橋本 徳邦

学校ではこれまでも避難訓練を行ってきました。昨年度も引き渡し訓練などを実施してきました。「万が一」に備え、子どもたちにも真剣に指導してきました。

しかし、3月11日。東日本大震災。

ニュースなどでも「想定外」、「想定を超える」という言葉がよく使われてきました。ふりかえると、自分たちの心底に「あるんだろうけれど・・・、」という甘い感覚がなかったかどうか、反省すべき点があるのではないかと考えています。

たとえば、これまでは子どもたちの「引き渡し」にせよ、「一斉下校」にせよ、校外指導部の連絡網が機能しているということを前提としてなかったでしょうか。

しかし、3月11日には携帯電話はたちまち通話不能になり、家庭の固定電話も非常につながりにくい状況になりました。刻々と状況が変化し、子どもたちを安全に保護者の皆様に引き渡すための連絡をする手立てがなくなり、最後は「ロコミ」に頼りました。

今年度、荒幡小学校では、各種の危機管理マニュアルの改定を進めています。前提は、「想定外」、「想定を超える」最悪の状況にも対応できるということです。

過日、「災害等による緊急対応の基本方針について」という通知で「引き渡しを基本とします。」とお知らせしたのもそうした見直しの一環です。

大きな災害がおきた場合、荒幡小学校は指定避難所となります。そうした場合、荒幡小学校はどのような機能を果たしていけばいいのか、校長をはじめとする教職員はどのように動けばいいのか、などの地域ぐるみの防災体制・緊急対応体制について、荒幡町内会のみなさんや松が丘自治会のみなさんとも相談していかなくてはいけないと思っています。



【開校30周年記念航空写真撮影の様子】

